



サイゴン — 待望の地名復活

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

2025年7月1日午前6時、ベトナム全国18,000以上の寺院で、一斉に鐘とバットニャ太鼓が鳴り響きました。この日はベトナムで正式に「地方二層政府モデル」が運用された記念すべき一日目であり、国の平和と繁栄を祈り荘厳な儀式が各地で行われました。

今回の行政改革（地方再編）により、63の省・市は34省・市に統合され、一部の地名は今後行政単位として使用されなくなります。地名がなくなることには寂しさや郷愁が伴いますが、人々はそれ以上に新たな時代に向けての希望と期待を感じています。

2. ホーチミン市 — 新たな構造で再出発

行政単位の再編により「区・郡」など中間レベルの行政区分が廃止され、「省・中央直轄市」と「坊・社・特区」の二層制に整理されました。

ホーチミン市は、ビンズオン省とバリア＝ブンタウ省を編入し、人口約1,400万人の新たなホーチミン市となりました。簡素で機能的な行政組織への変革により、市民中心のサービス提供を重視する現代的な都市行政の実現を目指しています。



【統合されたホーチミン市(筆者撮影)】

3. 数字から言葉への名称変更 — 込められた想い

これまで多くの坊が「第1坊」、「第2坊」と数字で呼ばれていましたが、再編後には文化的・歴史的な名称が採用されています。市民の間では「数字ではなく意味のある名前が付けられることに、何とも言えない感動を覚える」との声が上がっています。

(筆者撮影)

なかでも注目されるのは、「サイゴン坊(Phường Sài Gòn)」という名称が市の中心地に正式に復活したことです。この地域は旧1区の政治・経済・文化の中心地であり、多くの歴史的建造物が集まるエリアです。ホーチミン市はかつて様々な名称で呼ばれてきましたが、「サイゴン」という呼称



は最も広く親しまれ、行政、文化、生活の中で長く使用されてきました。1976年、当時のサイゴンがホーチミン市と改称された後も、「サイゴン」という名前は郷愁と誇りの象徴であり続けました。

「サイゴン坊」の名前は過去と現在をつなぐ架け橋であり、地域の伝統と都市の現代の流行を調和させるものです。この命名は、都市のアイデンティティを守りながら、今後の発展へとつなげる大切な一歩になります。

4. 地名の復活がもたらす文化観光の可能性

「サイゴン」、「チョロン」、「ザーディン」、「アンドン」など、かつての地名が再び坊の名前として採用されることで、都市文化観光の新たな展望が開かれます。これは、世界中の多くの都市が進めている「歴史と観光の融合」に倣ったものであり、都市ブランディングにつながる動きです。

たとえば「サイゴン坊」では、ノートルダム大聖堂、市中央郵便局、統一会堂など、フランス植民地時代の建築物を巡る徒歩観光が可能です。「チョロン坊」では、中華文化とベトナム文化が融合した食文化や祭礼、漢方薬街などが体験できます。「ザーディン坊」では、南部の伝統文化、古い寺院や伝統的な民間信仰に触れる旅が楽しむことができます。これらの取り組みは、市民の地域への愛着を深めるだけでなく、観光資源としての価値も高めていくことでしょう。

5. おわりに

今回の地方再編と二層制地方統治モデルへの移行は、ベトナムにとって「新たな時代への転換点」になります。ベトナムは常に前進し、統合、革新、そして持続可能な発展のプロセスにおいて、積極的な姿勢を貫いています。

* 今回の地方再編で、弊社ホーチミン事務所の住所表記が変更になりました。

【新住所】 Suite 1709, 17th Floor,
Saigon Tower, 29 Le Duan St.,
Saigon Ward, Ho Chi Minh City,
Vietnam



【ホーチミン人民委員会庁舎前広場(筆者撮影)】

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp